

中部経済連合会
生物多様性宣言

2010年10月4日

【前文】

わたしたち中部経済連合会が活動エリアとする、愛知・岐阜・三重・静岡・長野の中部5県は、「森の国・水の国」とも称される豊かな自然に恵まれている。深く広大な森林地帯を有する中部山岳地帯に源を発し、豊富な水量を誇る木曾三川・天竜川・大井川などの河川を経て、ダイナミックな海岸線を築く伊勢湾・三河湾・駿河湾などの湾岸地域に至るまでの恵まれた自然の中で、地域固有種・希少種を含む多様な生物種が共生している。

中部地域は、このような豊かな自然環境の下、ものづくり産業・技術の一大集積地として発展を遂げ、資源・製品の輸出入を通して、世界と密接に結びついている。その源をたどれば、桑と蚕の恵みを受けた繊維、土の恵みを受けた陶磁器、水の恵みを受けた電力など、自然の恵みを受けた様々な産業が基盤となり、工作機械産業、自動車産業、航空宇宙産業などに繋がって、今日の中部経済を形成していることを忘れてはならない。今こそわたしたちは、わたしたちの事業活動が、地域を越えて世界各地の様々な生態系サービスの恵みによって成り立っており、同時に大きな影響を及ぼしていることを再認識しなければならない。

当地域は、従来より干潟の維持・保全をはじめとした環境保全活動に地域を挙げて取り組んでおり、さらに2005年には「自然の叡智」をテーマに21世紀型環境万博とも言われた『愛・地球博』を開催するなど、常に、人と自然の共存と持続可能な社会の創造の大切さを世界に発信してきた。そして、わたしたちは、このたび愛知・名古屋において開催される生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)を歴史的契機と捉え、自然との共存による事業活動を継続し、子供たちのために、地球の豊かな未来に向けて発展させていくことを強く決意するものである。

【宣言文】

わたしたちは、中部地域が豊かな自然の恵みにより世界屈指のものづくり産業を育んできたことを認識し、「COP10 愛知・名古屋」を契機として、決意新たに、生物多様性条約の理念を尊重し、事業活動ならびに社会貢献活動において、生物多様性に資する取組みを積極的に推進することを宣言する。

中部経済連合会は、「日本経団連生物多様性宣言」及び「環境省・生物多様性民間参画ガイドライン」に賛同し、宣言しています。

【行動指針】

■ 中部地域の豊かな自然ともものづくりとの調和

わたしたちは、生物多様性の視点を企業経営・経営方針に反映し、持続可能な事業活動の要となる資源循環型社会風土の形成と社会貢献活動の推進などを通じて、中部地域の豊かな自然と高度な技術に支えられたものづくりとの調和を目指します。

■ 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用

わたしたちは、中部地域をはじめ国内外の事業活動地域において、自らの事業活動における生物多様性への影響を把握・分析・改善し、『愛・地球博』のテーマ「自然の叡智」を引継ぎ、生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用を目指します。

■ 先進的技術の活用による生物多様性保全への貢献

わたしたちは、ものづくり産業のトップランナーとして、培った先進的な技術を環境保全のための技術開発や取組みに活用し、生物多様性を育む社会づくりに貢献します。

■ 国内外の関係組織との連携と人材育成の推進

わたしたちは、地域社会、NGO・NPO などとのさらなる情報共有、グローバルな連携を通じて、生物多様性保全などの取組みを実効あるものとするとともに、生物多様性に資する新たな仕組みづくり、人づくり、地域づくりを目指します。